

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

昭和55年12月15日

第35報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	120		
(珪) <i>Melosira italica</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	120		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	3800	◎	
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	200		
(緑) <i>Gloeocystis</i> sp.	160		
(緑) <i>Planktosphaeria gelatinosa</i>	80		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i>	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	320	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	180		◎
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		○
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	320	5.5	1.8
(珪) 珪藻綱	4160	72.0	29.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	3.5	6.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1100	19.0	62.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	5780	総体積	5.39E+06
種類数	13	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

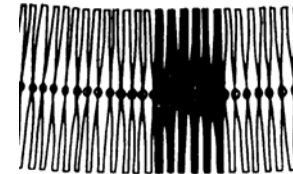
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Fragilaria crotonensis</i>	3800

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	320

植物プランクトン第1優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

植物プランクトン第2優占種



Pediastrum biwae
(ビワクンシヨウモ)
緑藻綱

16, 32, 64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンシヨウモと呼ばれている。